

資料-8 用語集

用語		説明
1	芯止め	樹木の幹の先端を切って生長を止めること。
2	コドラート	野外の調査地に一定の面積の正方形を通常複数設け、その内部の生物について調査する手法のこと。あるいは、その手法において設けられた正方形のこと。
3	AO層（腐植層）	AO層は堆積有機物層であり、地表にあって落葉・落枝などの植物遺体や動物遺体およびそれらの腐朽物が重なり合って層をなしているものである。森林土壌には通常、堆積有機物層と鉱質土層の2種類の層位がある。
4	菌根菌	生きた植物の根に入り込んで、そこから栄養をもらって生活している菌類のこと。多くの菌根菌は土の中に広く伸びた菌糸で肥料分を吸収して植物に与えるはたらきを持ち、植物と共生の関係にある。
5	相対照度	周囲に障害物がない場所における全天の照度に対する、林内の照度の割合（林内照度（lux）÷全天照度（lux）×100）。測定値の変動が大きいものの、林内の明るさを示す指標として、林床植生の管理などによく使われる。
6	樹冠開空度	全天空写真に写った枝、幹、葉以外の空の部分の面積率
7	高木層	森林の最上層の林冠を構成する部分。樹高が8mを超える植物の層。地上からおおよそ45mに達することもある。
8	亜高木層	林冠よりも低く、低木層よりも高い階層。
9	低木層	1～4m程度の低木が生えている階層。
10	草本層	地被植物を含む草本のみから成る階層で、木本植物は含まれない。最大でも1.5mである。草本層には草本植物、イネ科植物、矮生低木（半地中植物、地中植物、一年生植物、および地表植物）および若齢の低木が含まれる。
11	植被率	コドラート内を植物が覆っている割合を示す数値。
12	被度	種別の植被率を階級で示したもの。コドラート内において、その植物がその層でどれだけの面積を占めているかを示す。
13	群度	どのような状態で群落をつくっているか、あるいは単独で存在するかなどを示す指標。
14	インジェクション処理	加圧式土壌改良法の一つで、樹木の周辺土壌に小さな穴をあけて各種の土壌改良資材を注入（インジェクション）する方法。
15	ボックス処理	1m ² 四方、深さ50cmの範囲で根系改良を行う方法。
16	トレンチ処理	樹木の周辺にトレンチ（溝）を設け、その範囲で根系改良を行う方法。